

RPC-M2CSファームウェアバージョンアップ

1.00Rの説明, バージョンアップ方法

明京電機株式会社

1.2版(2022/6作成)

弊社リブーターWATCH BOOT nino [RPC-M2CS]を平素ご利用いただき,誠にありがとうございます。
(以下, RPC-M2CSを「本装置」と記述)

制御メール送信後, 比較的短間隔で制御を実行するため, 「メールチェック間隔」を最短30秒に設定可能なファームウェア1.00Rを導入するための手順書です。

《変数の差異》

■ファームウェア1.00Eと比較して, 次の変数の仕様が変更されています。

mailCheckInterval

メール受信間隔(単位を「秒」に変更。30秒～3600秒に設定可能。)

(1.00D, 1.00Eでは1分～60秒での設定)

1. バージョンアップ方法

「ローカルファイルバージョンアップ」の方法で行います。

注記 「ローカルファイルバージョンアップ」実行時、通信環境によってはエラー(21)や(27)が表示され、失敗することがあるようです。その場合は、

- ・PCと本装置を直接接続する
- ・本装置の通信速度を100Mbps半二重に固定する
(通信速度を変更した後、CPUリセットが必要です。)
- ・PCのNIC側の通信速度を100Mbpsに固定する

のいずれかの方法で実行してください。

【準備物】

・本説明書と同梱されていたvupファイル

★運用途中でこのバージョンアップを行う場合、
事前にSAVEコマンドを実行して、設定値を保存し、
下記の手順でバージョンアップ完了後、保存した設定値を書き込むようにしてください。
(下記手順内に「初期化」が含まれているため)

■SAVEコマンドの実行方法、設定値の書込に関しては
本装置の詳細取扱説明書をご覧ください。

1) 「システム情報」をクリックし、「システム基本」にて[ファームウェア更新]をクリックします。

The screenshot shows the web interface of the RPC-M2CS device. On the left is a sidebar menu with various options. The 'System Information' (システム情報) option is circled in red. The main area displays the 'System Basic' (システム基本) settings page. At the top right of this page is a 'Update' (更新) button. Below it, there is a tabbed interface with 'Setting Details Display' (設定詳細表示) and 'Firmware Update' (ファームウェア更新). The 'Firmware Update' tab is circled in red. Below the tabs is a table of system parameters.

項目	値
機器名称	Noname
バージョン	1.00D.190820/RPC2.210929
モデル名	RPC-M2CS
アウトレット数	2
アウトレット1名称	Outlet1
アウトレット2名称	Outlet2
機器内部時間	2021/12/20 11:42:36
仮想アウトレット1名称	
仮想アウトレット2名称	
仮想アウトレット3名称	
仮想アウトレット4名称	
仮想アウトレット5名称	

- 2) 「バージョンアップ方法の選択」の「ローカルファイルの選択」にて[ファイル選択]をクリックします。

ファームウェアバージョンアップ

バージョンアップ方法の選択

バージョン	1.00D.190820
モデル名	RPC-M2CS

オンライン自動アップデート

ローカルファイルの選択

- 3) [ファイルを選択]にてvupファイルを指定し、その後[送信]をクリックします。(2分程度かかりますが、そのままお待ちください。)

ファームウェアバージョンアップ

バージョンアップ用ファイルの送信

※バージョンアップ用ファイルを選択し、[送信]ボタンを押してください。
その後、実行結果画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

- 4) 下記の画面が表示されれば成功です。[初期画面へ]をクリックします。

ファームウェアバージョンアップ

バージョンアップ結果

Error = 0

※バージョンアップが正常に終了しました。初期画面へ戻ることが出来ます。
最新のファームウェアに移行するために、初期画面からCPUリセットを実行するか、
再起動をしてください。

★「Error=0」にならず、「(21)」や「(27)」が表示された場合、次の接続方法のいずれかにして再度実行してみてください。

- ・PCと本装置を直接接続する
- ・本装置の通信速度を10Mbpsに固定する(通信速度を変更した後、CPUリセットが必要です。)
- ・PCのNIC側の通信速度を100Mbpsに固定する

- 5) 「CPUリセット」が黄色表示されています。クリックしてCPUリセットを実行してください。

The screenshot shows the RPC-M2CS web interface. On the left is a vertical menu with categories: 状況表示項目 (Status Display Items), 制御項目 (Control Items), and 設定項目 (Setting Items). Under 設定項目, 'CPUリセット' (CPU Reset) is highlighted with a red circle. The main content area is titled '簡易情報表示' (Simple Information Display) and contains two sections: 'アウトレット情報' (Outlet Information) and '機器情報' (Device Information). The 'アウトレット情報' section has a table with 2 rows: Outlet1 and Outlet2, both with 'ON' status. The '機器情報' section shows '機器名称' (Device Name) as 'Noname'.

No.	アウトレット名称	監視	電源
1	Outlet1		ON
2	Outlet2		ON

機器名称
Noname

- 6) その後、「初期化」を行う必要があります。
(設定値を元の状態に戻す必要がある場合、事前にSAVEコマンドを実行して、設定値を保存しておいてください。)

■初期化手順■

- 本体電源コードをコンセントから抜きます。
 - 本体前面のDIPスイッチ1と3のみON(下)にします。
 - 電源コードをコンセントに接続し、電源を供給します。
 - 本体前面のLINK LEDが5秒間点灯します。点灯中に本体前面のRESETスイッチを1秒程度、押します。
 - 初期化が成功するとLINK LEDとACT LEDが点灯します。
→成功したなら、アクティベートする必要があります。
DIP.SW3のみONの状態、RESETスイッチを押し、
「ご確認のお願い」画面にて注意事項をご確認の上、同意してください。
その後の画面で、必要に応じて通信関連の設定を行ってください。
- 7) DIP.SWを全てOFFにしてRESETスイッチを押し、運用モードに切り替えてご使用ください。
(保存しておいた設定値に戻す必要がある場合は、この後、設定値を反映させてください。)

2. 確認, 設定

[システム情報]をクリックし、「バージョン」が「1.00R.220317/HTMLCS.220322」となっていることを確認してください。

システム基本	
機器名称	Noname
バージョン	1.00R.220317/HTMLCS.220322
モデル名	RPC-M2CS
アウトレット数	2
アウトレット1名称	Outlet 1
アウトレット2名称	Outlet2
機器内部時間	2022/05/10 16:07:10
仮想アウトレット1名称	

[通信設定]-[メール設定]画面。「メールチェック間隔(秒)」になっています。

メール設定	
ユーザー名	
パスワード	
メールアドレス	
受信サーバ名	
受信ポート	110
送信サーバ名	
送信ポート	25
自動ログアウト時間(分)	10
メールチェック間隔(秒)	30
メールリトライ間隔(秒)	10
メールサーバ形式	IMAP POP3

以上

明京電機株式会社